

取扱説明書 国際 VHF トランシーバー

品番 UM415



本製品を使用するには、総務省発給の無線局免許が必要です。免許を受けずに使用した場合、電波法第 110 条の規定により処罰の対象となります。

このたびはユニデン国際 VHF トランシーバーをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。

目次

はじめに	4
安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	7
電波法に関するご注意.....	7
運用上のご注意.....	7
非常時の運用について.....	8
● DSC (デジタル選択呼び出し) 機能 を使用して自動送信する場合.....	8
● 16 チャンネルを使用して手動送信 する場合.....	8
お手入れについて.....	9
防水性能について.....	9
DSC 機能について.....	9
ご使用前の準備	10
本体と付属品.....	10
各部のなまえ.....	11
■ 本体 (正面).....	11
■ 本体 (背面).....	13
■ マイクホン.....	14
■ 液晶ディスプレイ.....	15
準備する.....	16
本体を設置する.....	16
■ ブラケットを取付面に固定する.....	16
■ ブラケットに本体を取り付ける.....	17
■ マイクハンガーを固定する.....	17
アンテナを接続する.....	17
電源および外部機器を接続する.....	18
■ ヒューズを交換するとき.....	18
基本操作のしかた	19
ご使用になる前に.....	19
チャンネルについて.....	19
基本的な使いかた.....	20
電源を入れる／切る.....	20
音量の調節.....	20
スケルチレベルの調整.....	20
受信と送信のしかた.....	21

使いこなす	22
操作モード・ウォッチモードについて.....	22
■ 操作モード.....	22
■ ウォッチモード.....	22
スキャンモードについて.....	23
ウォッチモードについて.....	23
ノーマルモードを使う.....	24
■ ノーマルモードとウォッチモードを 組み合わせて運用する.....	24
スキャンモードを使う.....	25
■ メモリーチャンネルを設定する／解除する.....	25
■ スキャン操作のしかた.....	26
■ スキャンモードにする.....	26
■ スキャンモードを終了する.....	26
■ スキャンモードとウォッチモードを 組み合わせて運用する.....	27
DSC (デジタル選択呼び出し) 機能を使う	28
コールメニュー <Call Menu> を表示する.....	28
自局 MMSI 番号を登録する <User MMSI>.....	29
グループ MMSI 番号を登録する <Group MMSI>.....	30
■ 登録済みのグループ MMSI 番号を 変更するには.....	30
個別 MMSI 番号を登録する <Directory>.....	31
■ 登録済みの個別 MMSI 番号を変更、 または削除するには.....	32
位置情報と時刻を登録する (GPS レシーバーを接続していない場合のみ).....	33
位置情報と時刻を確認する.....	34
時刻に関するその他設定.....	35
■ 取得している時刻から前後 1 時間 増減する <Time Adjust>.....	35
■ サマータイムを設定する <Daylight Save>.....	35
DSC 機能を使う	36
DISTRESS コール (遭難信号) を送信する.....	36
■ 遭難の種類を指定して送信する.....	37

DISTRESS コール（遭難信号）を受信したら……	37
個別呼び出しをする <Individual Call>	38
個別呼び出しを受ける	39
グループ呼び出しをする <Group Call>	40
グループ呼び出しを受ける.....	40
全船呼び出しをする <All Ships Call>	41
全船呼び出しを受ける	41
位置情報要求を送信する <POS Request>.....	42
他局からの位置情報要求に応答する	43
自局の位置情報を送信する <Position Send>	44
他局からの位置情報を受ける	44
受信履歴を見る <Receive Log>	45
テストコールを行う <Test >	46
テストコールを受ける.....	47
DSC 機能に関する各種設定.....	48
個別呼び出し時の自動チャンネル切換を 設定・解除する <Auto CH SW>	48
位置情報自動送出を設定・解除する <POS Reply>.....	48
テストコールの自動応答を設定・解除する <Test Reply>	49
スタンバイ状態にする <Standby>	49

キー照明の明るさを調整する <Lamp Adjust>..	55
キータッチ音 <Key Beep>.....	55

ご参考 56

故障かなと思ったら	56
チャンネルリスト	58
おもな仕様	59

メニューについて 50

セットアップメニュー・システムメニュー を表示する.....	50
セットアップメニュー.....	51
■セットアップ（Setup）メニューを 表示するには	51
チャンネルグループを切り換える <USA/CAN/INT>	52
ウォッチモードを切り換える <Dual/TriWatch>.....	52
チャンネル名を変更する <Channel Name>	53
システムメニュー.....	54
■システム（System）メニューを 表示するには	54
画面コントラストを調整する <Contrast>	55

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



注意

けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれがある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
	 分解禁止	 電源プラグを抜く
	 ぬれ手禁止	

警告

直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に設置しないでください



ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。

落下したりはズレたりしないよう、確実に取り付けてください



取り付けが弱いと航行中にはズレる、落下するなどし、事故やけがの原因になることがあります。

強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください



引火や火災、爆発の原因になります。

■安全上のご注意 (つづき)



警告

製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください



火災、感電などの事故、または故障の原因になります。

煙が出ている、変なおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください



そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。

指定以外の電源・電圧では使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

DC 電源ケーブルを接続する際は、プラス (+) とマイナス (-) の極性を間違えないよう十分確認してください

火災、感電、故障の原因になります。

DC 電源ケーブルのヒューズホルダは、絶対に切断しないでください



ショートして発火、火災などの原因になります。

必ず規定のヒューズをご使用ください



規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

ケーブル類を踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください



火災や感電のおそれがあります。

ケーブル類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください



ショートして発火したり、故障や感電の原因になることがあります。

アンテナを取り付けずに送信したり、送信しながらアンテナを取り付けたり取りはずしたりしないでください



感電、故障の原因になります。

DC 電源ケーブルのコネクター部分にホコリが付着したまま使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください



けが、故障の原因になることがあります。

雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、DC 電源ケーブルには絶対に触らないでください



感電の原因となります。

針金などの導電物を差し込まないでください



感電や故障の原因になることがあります。

乳幼児の手の届かない場所で使用してください



感電やけがの原因になります。

■安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください



けがや故障、破損の原因になります。

⚠ 注意

本機を水のかかるところや湿気、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所に設置しないでください



火災、故障の原因になります。

使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。
(※本製品の使用温度範囲：-20℃～+60℃)

本機を他の製品と重ねたり、本機どうしを重ねて設置しないでください



火災、故障の原因になります。

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に設置しないでください



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

ケーブル類を抜き差しするときは、必ずプラグの部分を持って行ってください



感電やショートし、発火の原因になることがあります。

雨水や水滴が付着したままの状態、またはぬれた手で電源ケーブルや接続ケーブルを抜き差ししないでください



感電の原因になることがあります。

コネクタや端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください



ショートして発火の原因になることがあります。

テレビやラジオ、またはインバーターを内蔵した電子機器の周辺では使用しないでください



電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。

使用中は本機背面のヒートシンク(放熱器)部分に触れないようご注意ください



やけどのおそれがあります。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください



変質・変色の原因になることがあります。お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。

■使用上のご注意

- 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
- お客様や第三者が誤った使用方法で本製品を使用したことによる故障や不具合、あるいはその使用によって生じた損害について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電波法に関するご注意

- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。
これは簡単な手続きにより本製品をお使いいただくためのものです。本製品を分解や改造して使用すると、電波法違反により罰せられます。
- 免許状に記載されている範囲内で運用してください。
特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることはかたく禁じられています。
- 免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。
再免許の申請手続きは、免許の失効する6ヵ月前から3ヵ月前の間に行ってください。

運用上のご注意

- 本製品を使用するには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は海上船舶用無線です。陸上など、海上の船舶以外で使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は25W固定（据置）型の無線機です。固定（据置）型として使用する無線機は、免許を受けてから5年ごとに定期検査を受ける必要があります。定期検査の受検については、所轄の管理局より届く通知の指示に従ってください。
- 運用中は16チャンネルを聴取するようにしてください。
16チャンネルは、遭難・安全／呼出し専用の共通チャンネルです。一般通話には使用しないでください。
また、指定されたチャンネル以外で通信した場合は、電波法違反で罰せられます。
- チャンネルは必ず国際チャンネル「INT」でご使用ください。

■ 使用上のご注意 (つづき)

非常時の運用について

救助が必要な際は、下記の手順に従い DISTRESS コール (遭難信号) を送信します。

● DSC (デジタル選択呼び出し) 機能を使用して自動送信する場合

ご注意!

- ・ DSC 機能を使用するには第 2 級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- ・ DSC 機能を使用するにはあらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。設定のしかたは「自局 MMSI 番号を登録する」(➡ 29 ページ) をご覧ください。
- ・ [DISTRESS] キーを押した際、<ENTER USER MMSI> と表示された場合は、本機に自局の MMSI 番号が設定されていません。
この場合は [CLR SCAN] キーを押して送信を中止し、16 チャンネルを使用しての自動送信に切り換えてください。

- ① 保護カバー (赤色) を上げ、[DISTRESS] キーを長押し (約 3 秒) する
本機は他局が送信した受信確認 <Acknowledge> を受信するまで、自動的に遭難信号を 3.5 ~ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。
※ 送信される遭難信号には以下の情報が含まれます。
 - ・ 遭難の種類 <Undesignated distress> (その他の遭難)
 - ・ 位置情報
- ② 受信確認 <Acknowledge> を受信すると、自動的に 16 チャンネルに移行するので、PTT (送信) スイッチを押して必要な情報を伝える

● 16 チャンネルを使用して手動送信する場合

- ① 「MAYDAY (メーデー)、MAYDAY、MAYDAY」
- ② 「THIS IS (こちらは)」
- ③ 「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」 (3 回繰り返す)
- ④ 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類
- ⑤ その他救助に際して有効と思われる情報を伝えます。

■使用上のご注意 (つづき)

お手入れについて

本体に海水や砂、泥などが付着したときは真水でよく洗い流してください。
その後乾いた柔らかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてください。

防水性能について

本製品は、JIS 保護等級 8 (水中形) 相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。
次のような使いかたをした場合、防水性能を維持できませんのでご注意ください。

- 水深 1.5 m 以上の水中に沈めるとき、または 30 分以上水中に放置したとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口から直接水や湯を当てたとき
- 海水や砂、泥などが本体に付着したまま放置したとき
- 落下等の外的衝撃による樹脂部分の変形、ゆがみ、ひび割れなどが発生した場合
- 薬品等の付着により筐体、ゴムパッキン部が変質したり、劣化が生じたとき
- 薬品等の蒸気が発散する場所、または薬品等に触れる場所に放置したとき
- 本機と外部 DC 電源装置間の錆・腐食等による故障、または損傷があるとき
- 電源装置や外部スピーカー等、本機に接続した外部機器との接続ケーブルに防水処理をしていないとき
- 使用温度範囲外で使用したとき

DSC 機能について

本製品は、ITU クラス D に合致する DSC 機能を搭載しています。緊急時の通信や、グループ送信・個別送信、自船の位置情報送出などの便利な機能がお使いいただけます。

DSC 機能をご使用になる際のご注意

- DSC 機能を使用するには第 2 級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- DSC 機能を使用するにはあらかじめ本機に自局の MMSI 番号を登録しておく必要があります。
登録のしかたは「自局 MMSI 番号を登録する」(⇒ 29 ページ) をご覧ください。

ご参考

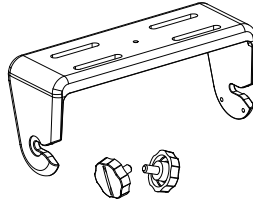
- ・本機に GPS レシーバーを接続しておけば、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、万が一の際、正確な情報を送信することができます。GPS レシーバーを接続していない場合は、頻繁に (最低 4 時間おき) 手動にてこれらの情報を入力しなければなりません。
安全な航行のため、本機に GPS レシーバーを接続して運用されることを強くおすすめ致します。

ご使用前の準備

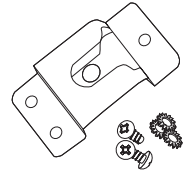
■本体と付属品



本 体



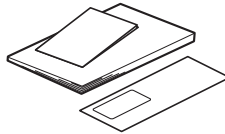
本体取付ブラケット



マイクハンガー・取付ねじ
(各一式)



取付ねじ(一式)



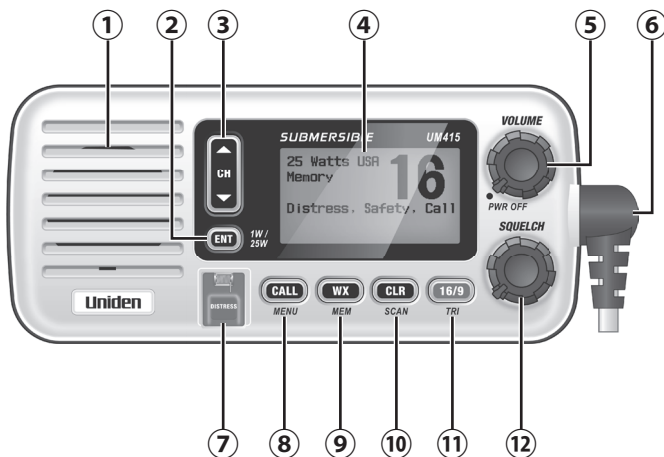
取扱説明書・保証書(一式)

※ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。

※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

各部のなまえ

■ 本体 (正面)



① スピーカー

② [ENT 1W/25W] 送信出力キー

◎短く押す

- ・ 選択しているメニュー項目を決定します。
(⇒ 28, 51 ページ)
- ・ 位置情報を表示します。(⇒ 34 ページ)

◎長く押す (約2秒)

押すたびに送信出力 (1W または 25W) を切り換えます。

③ [CH ▲/▼] CH アップ/ダウンキー

- ・ 運用チャンネルを選択します。
(⇒ 21 ページ)
- ・ メニュー操作時、項目を選択します。

④ 液晶ディスプレイ

表示内容についての詳細は
15 ページをご覧ください。

⑤ 電源/音量調節ダイヤル

時計方向に回すと電源オン、さらに回すと音量が大きくなります。反時計方向に回せば回すと電源オフになります。
(⇒ 20 ページ)

⑥ マイクロホン

詳細は 14 ページをご覧ください。

⑦ [DISTRESS] DISTRESS キー

非常時、DISTRESS コール (遭難信号) の送
出に使います。
※保護カバー (赤色) を上げて押します。

◎短く押す

遭難の種類を選択して送
出します。
(⇒ 37 ページ)

◎長く押す (約3秒)

遭難信号を送出します。(⇒ 36 ページ)

■各部のなまえ (つづき)

⑧ [CALL MENU] コール/メニューキー

◎短く押す

コールメニューを表示します。
(⇒ 28 ページ)

◎長く押す (約 2 秒)

ノーマルメニューを表示します。
(⇒ 51 ページ)

⑨ [WX MEM] ウェザーチャンネル/メモリーキー

◎短く押す

押すたびにウェザーチャンネル*、国際チャンネルグループを切り換えます。

◎長く押す (約 2 秒)

表示されているチャンネルをメモリー (スキャン対象) チャンネルに設定 (または解除) します。(⇒ 25 ページ)

ご注意!

- ・ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

⑩ [CLR SCAN] クリア/スキャンキー

◎短く押す

メニュー操作時、前の画面に戻ります。
(⇒ 28, 51 ページ)

◎長く押す (約 2 秒)

あらかじめ登録されているチャンネルをスキャンします。(⇒ 22, 26 ページ)

⑪ [16/9 TRI] 16, 9 チャンネル/トリプルキー

◎短く押す

押すたびに 16 チャンネル、9 チャンネル、受信していたチャンネルに切り換えます。
(⇒ 19 ページ)

◎長く押す (約 2 秒)

押すたびにトリプルウォッチ、デュアルウォッチモードを開始/終了します。
(⇒ 22, 27 ページ)

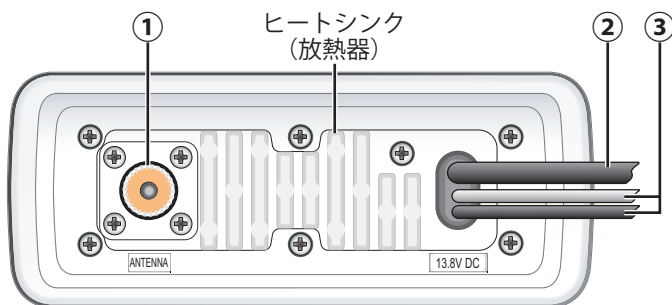
トリプルウォッチモード中に短く押すと、トリプルウォッチを中断して 16 チャンネルを選択します。

⑫ スケルチ調整ダイヤル

ダイヤルを回してスケルチレベルを調整することで、信号のないチャンネルを受信したときの雑音を低減します。(⇒ 20 ページ)

■各部のなまえ (つづき)

■ 本体 (背面)



① アンテナ接続端子

取り付け、取りはずしのしかたは
17 ページをご覧ください。

③ DC 電源ケーブル

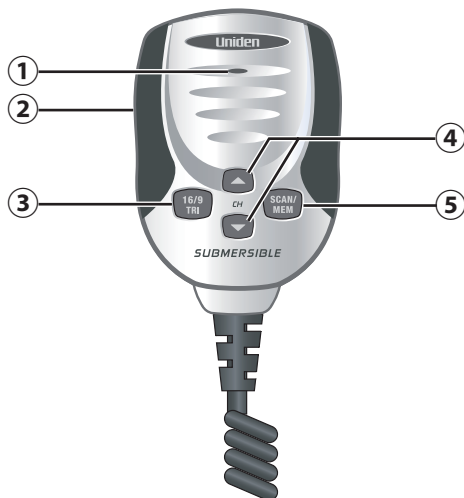
詳細は 18 ページをご覧ください。

② ACC ケーブル

詳細は 18 ページをご覧ください。

■各部のなまえ (つづき)

■ マイクロホン



① 送話口

② PTT (送信) スイッチ

押している間は送信状態、離すと受信状態になります。(⇒ 21 ページ)

③ [16/9 TRI]

16, 9 チャンネル / トリプルキー

◎ 短く押す

押すたびに 16 チャンネル、9 チャンネル、受信していたチャンネルに切り換えます。(⇒ 19 ページ)

◎ 長く押す (約 2 秒)

押すたびにトリプルウォッチ、デュアルウォッチモードを開始 / 終了します。(⇒ 22, 27 ページ)

トリプルウォッチモード中に短く押すと、トリプルウォッチを中断して 16 チャンネルを選択します。

④ [CH ▲ / ▼]

CH アップ / ダウンキー

- ・ 運用チャンネルを選択します。(⇒ 21 ページ)
- ・ メニュー操作時、項目を選択します。

⑤ [SCAN/MEM]

スキャン / メモリーキー

◎ 短く押す

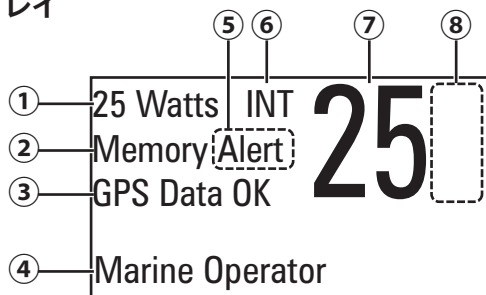
あらかじめ登録されているチャンネルをスキャンします。(⇒ 22, 26 ページ)

◎ 長く押す (約 2 秒)

表示されているチャンネルをメモリー (スキャン対象) チャンネルに設定 (または解除) します。(⇒ 25 ページ)

■各部のなまえ (つづき)

■ 液晶ディスプレイ



※ 上記は通常時の表示例です。
位置情報表示中 (➡ 34 ページ) などは表示内容が異なります。

① 送信出力

選択している送信出力 (1W/25W) のいずれかを表示します。

② メモリーチャンネル

メモリー (スキャン対象) チャンネルを選択しているときに点灯します。

③ ステータス表示

状況に応じて各種ステータスメッセージが表示されます。

表示メッセージ	内容
GPS Data OK	GPS 信号受信良好
Check GPS	GPS 信号受信不良
Input Position	位置情報未入力
BATTERY HIGH	電源電圧値異常 (高電圧時)
BATTERY LOW	電源電圧値異常 (低電圧時)

④ チャンネル名

受信中のチャンネル名を表示します。

☞ 表示しきれない場合はスクロール表示されます。

⑤ ウェザーアラート

ウェザーアラート機能の動作中に表示されます。

ご注意!

・ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

⑥ チャンネルグループ

選択しているチャンネルグループが表示されます。

- ・国際チャンネル「INT」
- ・米国「USA」
- ・カナダ「CAN」

⑦ チャンネル番号

現在選択している運用チャンネル番号を表示します。

⑧ アイコン表示部

状況に応じて各種アイコンが表示されます。

表示メッセージ	内容
	GPS 信号受信良好
(点滅)	位置情報未入力
	未読の受信履歴あり

■ 準備する

■ 本体を設置する

付属の本体取付ブラケットを使用して本体を取り付けてください。
ブラケットの取付方向を変えることにより「据え置き」、「吊り下げ」いずれかの方法で取り付けることができます。

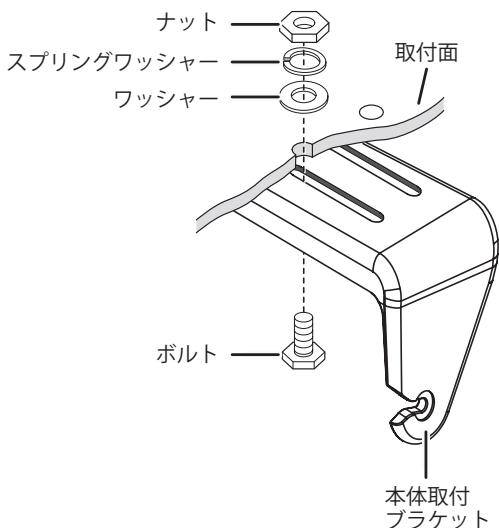
ご注意！

取付場所の選定に際しては、以下の点にご留意ください。

- ・ 操船に支障がないか
- ・ 設置する場所の近傍に磁気コンパスがないか
- ・ 各スイッチやツマミなどの操作は容易に行えるか
- ・ 後面のケーブル類が折れ曲がったりすることなく納まる十分な空間があるか
- ・ 熱がこもらないよう周囲（特に後面）に十分な空間があるか
- ・ 波の衝撃やエンジンの振動などを大きく受ける場所ではないか
- ・ 水のかかるところや湿気、ほこりの多い場所ではないか
- ・ 取付面は本体（重さ約 1.1kg）を支えるのに十分な強度があるか

■ ブラケットを取付面に固定する

付属の取付ねじ類を使用して、右図の要領で取付面にしっかりと固定してください。



準備する (つづき)

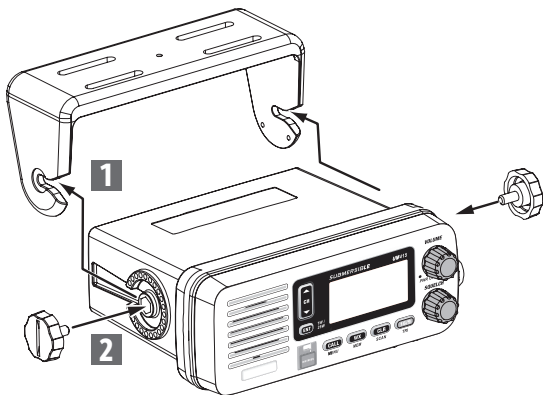
■ ブラケットに本体を取り付ける

- 1** ブラケットの切れ込みを本体左右の取付穴に合わせます。

※ 右図は「吊り下げ」取り付けの場合です。「据え置き」取り付けの場合はブラケットを天地逆にして取り付けてください。

- 2** ブラケットを挟み込むようにして取付ノブを締め付けます。

きつく締め付ける前に、ディスプレイ部が見やすい角度になるよう本体を調整してください。

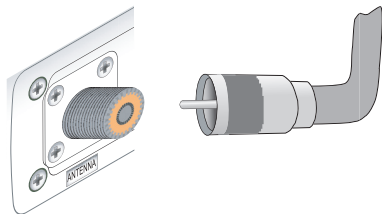


■ マイクハンガーを固定する

本体の取付位置が決まったら、本体付近の扱いやすい場所に、付属のマイクハンガーを取付金具を使用して取り付けてください。

アンテナを接続する

アンテナは船舶用国際 VHF アンテナをご用意ください。
本体との接続には PL-259 コネクタを使用してください。
※ 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



ご注意!

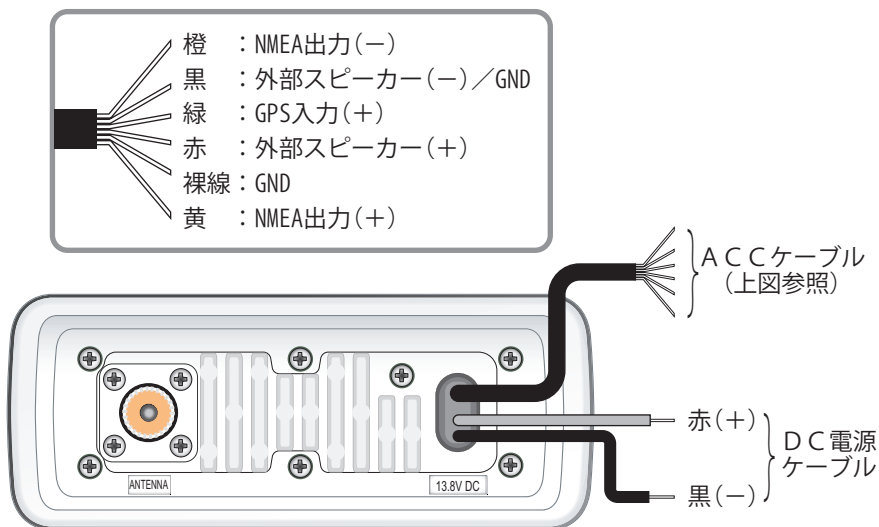
- ・本機にアンテナを接続していないときは、絶対に送信を行わないでください。
接続しないで使用すると、故障の原因となります。

■ 準備する (つづき)

電源および外部機器を接続する

下図を参照して電源、および GPS レシーバーなどの外部機器を接続してください。

- ※ 本機に入力可能な NMEA 規格は、NMEA 0183 ver. 2.00 または 3.01 です。
- ※ 本機が対応している NMEA センテンスは、RMC/GLL/GNS/GGA/ZDA の 5 通りです(RMC 推奨)。
- ※ 外部スピーカーは 4 Ω 時 10W 以上のものが使用可能です。
- ※ 外部機器の接続後は必ず、接続部分をビニールテープ等で絶縁・防水処理してください。
- ※ 外部機器について詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



■ ヒューズを交換するとき

図の要領でヒューズホルダをはずし、中のヒューズを交換してください (定格 6A)。



- ※ ヒューズは必ず規定のものをお使いください。
- ※ ヒューズホルダをはずす際は、折り曲げすぎないようにご注意ください。折り曲げすぎると中のヒューズが破損します。

基本操作のしかた

ご使用になる前に

チャンネルについて

16 チャンネル

遭難緊急安全通信チャンネルです。他局との初期通信の確立に使用したり、緊急連絡用として使用します。そのため、待受け中も必ずモニターする必要があります。

また、このチャンネルはデュアル・トリプルウォッチの対象チャンネルとなっており、各ウォッチモードの動作時にはこのチャンネルが必ずモニターされます。

コールチャンネル

本製品では 16 チャンネルとは別に、頻繁に使用する運用チャンネルを簡単に呼び出せるコールチャンネルとして、9 チャンネルを設定しています。

- ・ [16/9 TR] キーを短く押すごとに 16 チャンネル、9 チャンネル、受信していた元のチャンネルの順に切り換わります。

国際チャンネル

本機で使用できる国際チャンネル数は 57 チャンネルです。

- ・ 国際チャンネルグループ選択時、「INT」が点灯します。
- ・ [▲] [▼] キーを押してチャンネルを選択します。

ご注意！

- ・ 本製品は Setup メニューの設定で米国「USA」・カナダ「CAN」および国際チャンネル「INT」に切り換えることができますが、日本の国内、海域および近海で米国・カナダの両チャンネルを使用することはできません。必ず「INT」が点灯した状態で使用してください。

ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて放送・運用されている、NOAA のウェザーチャンネルを受信するために使用するチャンネルです。

ご注意！

- ・ ウェザーチャンネルは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

■ 基本的な使いかた

電源を入れる／切る

電源／音量調節ダイヤルを時計回りに回すと電源がオンになります。
電源オンの状態から反時計回りにいっぱいまで回すと電源がオフとなります。

音量の調節

音量は、電源／音量調節ダイヤルを回して適切な大きさに調整します。

- ・ 時計方向に回すと音量が上がります。
- ・ 反時計方向に回すと音量が下がります。

スケルチレベルの調整

スケルチレベルは、スケルチ調整ダイヤルを回して調整します。
無信号時のノイズを低減したり、スキャンを効率よく行うため、適切なレベルに調整してください。

- ・ 時計方向に回すとスケルチは開きにくくなります。
- ・ 反時計方向に回すとスケルチが開きやすくなり、弱い信号でも受信しやすくなります。

基本的な使いかた (つづき)

受信と送信のしかた

1 電源／音量調節ダイヤルを時計方向に回して、電源を「オン」にする

2 電源／音量調節ダイヤルを回して音量を調節する

3 スケルチ調整ダイヤルを回してノイズが消えるレベルに調整する

4 運用するチャンネルを選ぶ

[▲][▼]キーを押すと、チャンネルがリスト表示されます。運用するチャンネルを選択します。

☞ 短く押すと1チャンネルごと、押し続けるとチャンネルを早送りできます。

信号を受信すると、スピーカーから音声が聞こえます。

(必要に応じ、再度音量を調節してください。)

5 [ENT 1W/25W] (送信出力) キーを押して送信出力を選ぶ

通信距離に応じて適切な送信出力を選びます。

1W	近距離通信の場合
25W	長距離通信の場合

※ 25W を選ぶときは [ENT 1W/25W] キーを長く押す (約2秒)

☞ チャンネルによっては1Wしか使えないチャンネルもあります。チャンネルリスト (➡ 58 ページ) も併せてご参照ください。

6 PTT (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって話す

送信中は、ディスプレイ部に「Transmitting at XX watt」と表示されます (XX は送信出力ワット数を表します)。

7 話し終わったら、PTT (送信) スイッチを離す

受信状態に戻ります。

● 緊急時など、送信中に 25W (長距離通信) に切り換える場合

1W で送信中に [ENT 1W/25W] キーを押すと、一時的に 25W 送信に切り換えることができます。

※ チャンネル 75, 76 の 1W 専用チャンネル使用時には切り換えできません。

チャンネル 15, 17 の場合は送信中に限り切り換えることができます。

● タイムアウトタイマー機能

本製品は 5 分間連続して送信状態が続いた場合、強制的に送信を停止します。

● マイクに向かって話すときは…

マイクと口元は 5cm ほど離し、普通のおしゃべり程度の声でお話してください。

マイクに近づけすぎたり大きな声で話すと、音が割れるなど、かえって不明瞭となります。

ご注意!

- ・本機にアンテナを接続していないときは、絶対に送信を行わないでください。接続しないで使用すると、故障の原因となります。

使いこなす

■ 操作モード・ウォッチモードについて

■ 操作モード

本製品には、ノーマル・スキャンの2つの操作モードがあります。

操作モード	機能	モードの切り換え
ノーマル	1つのチャンネルをモニターしながら 同一チャンネルで受信・送信を行います	本製品の初期モードです
スキャン	メモリーチャンネル (⇒ 25 ページ) に設定 した全てのチャンネルをモニターします	本体： [CLR SCAN] キーを 押し続ける (約2秒) マイクロホン： [SCAN/MEM] キーを押す

■ ウォッチモード

上記の操作モードに加え、以下の2つのウォッチモードがあります。

各操作モードとウォッチモードをそれぞれ組み合わせて運用することができます。

ウォッチモードは、選択しているチャンネルを受信しながら、指定のチャンネル (9 チャンネル / 16 チャンネル) を一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合は、そのチャンネルに切り換えます。

ウォッチモード	機能	モードの切り換え
デュアル *	16 チャンネルを2秒おきにモニターします	本体： [16/9 TRI] キーを 押し続ける (約2秒)
トリプル	9 チャンネルおよび 16 チャンネルを 2 秒おきにモニターします	マイクロホン： [16/9 TRI] キーを 押し続ける (約2秒)

* 初期設定は「トリプルウォッチ」です。「デュアルウォッチ」モードでお使いになりたい場合は、セットアップ<Setup>メニューで設定を変更してください (⇒ 52 ページ)。

■操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

スキャンモードについて

スキャンとは、メモリーチャンネルを自動で切り換えながら信号のあるチャンネルをサーチし、検出する機能です。

お知らせ

・スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります（⇒25ページ）。

本製品は、スキャンモード単体で、あるいは各ウォッチモードと組み合わせて運用できます。

- スキャンモード（⇒26ページ）
全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
- スキャンモード + デュアルウォッチ（⇒27ページ）
16チャンネルを2秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
- スキャンモード + トリプルウォッチ（⇒27ページ）
9チャンネルおよび16チャンネルを2秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。

ウォッチモードについて

ウォッチモードは、特定のチャンネル*を一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合にはそのチャンネルに切り換えます。

- * デュアルウォッチの場合
他のチャンネルを受信しながら16チャンネルを2秒おきにモニターします。
- * トリプルウォッチの場合
他のチャンネルを受信しながら9チャンネルと16チャンネルを2秒おきにモニターします。

 モニターは2秒間隔で行われます。ただし送信している間はモニターを行いません。

■ ノーマルモードを使う

■ ノーマルモードとウォッチモードを組み合わせて運用する

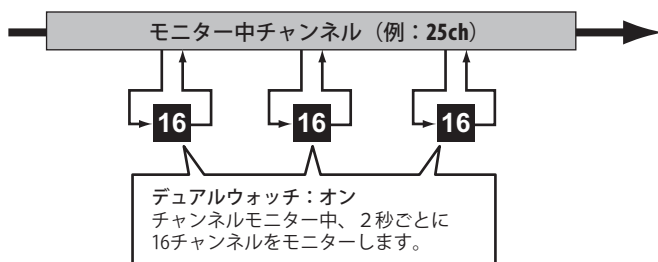
ノーマルモード中に

本体またはマイクロホンの [16/9 TRI] キーを長押しする (約 2 秒)

☞ 解除するときにはもう一度長押しします。

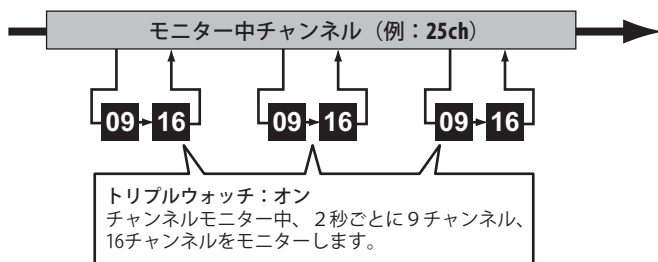
● デュアルウォッチの場合

1つのチャンネルをモニターしながら 16 チャンネルを 2秒おきにモニターします。



● トリプルウォッチの場合

1つのチャンネルをモニターしながら 9 チャンネルおよび 16 チャンネルを 2秒おきにモニターします。



■ スキャンモードを使う

メモリーチャンネルを設定する／解除する

スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります。設定／解除は以下の手順で行います。

1 設定（または解除）したいチャンネルを選択する

2 本体の **[WX MEM]** キー、または
マイクロホンの **[SCAN MEM]** キーを長押しする（約 2 秒）

設定されるとディスプレイに「Memory」が表示されます。
以降そのチャンネルを選局した際は、常に「Memory」が表示されます。
（解除した場合は「Memory」が消えます。）

■ スキャンモードを使う (つづき)

スキャン操作のしかた

ご注意!

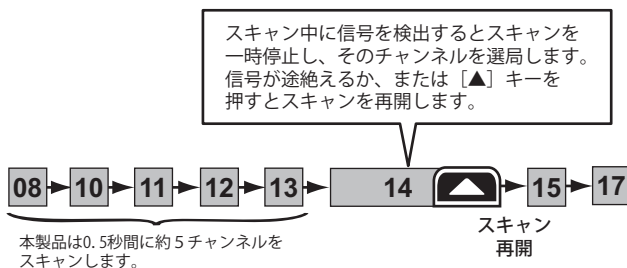
- ・あらかじめメモリーチャンネルにチャンネルが2つ以上登録されていないと、スキャンモードは動作しません (⇒前ページ)。
- ・スキャン中は送信できません。

■ スキャンモードにする

本体の [CLR SCAN] を長押しする (約 2 秒)、または
マイクロホンの [SCAN MEM] キーを押す

全てのメモリーチャンネルのスキャンを開始します。

ディスプレイには「Scanning Channels」のメッセージと、スキャン対象となるチャンネル番号が表示されます。



スキャン中に信号を受信するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを選局します。スキャンを再開させたいときは [▲] キーを押してください。

👁️ 選局中に受信した信号が途絶えた場合は、自動的にスキャンを再開します。

■ スキャンモードを終了する

(スキャンモード中に)

本体の [CLR SCAN] を長押しする (約 2 秒)、または
マイクロホンの [SCAN MEM] キーを押す

スキャンを終了します。

■ スキャンモードを使う (つづき)

■ スキャンモードとウォッチモードを組み合わせて運用する

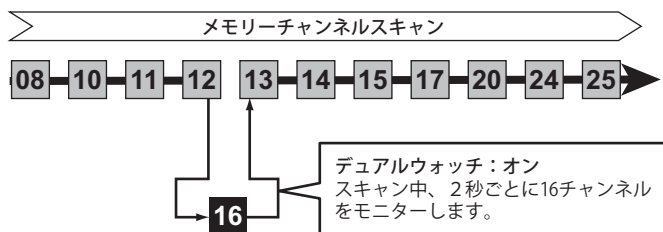
(スキャンモード中に)

本体またはマイクロホンの [16/9 TRI] キーを長押しする (約 2 秒)

☞ 解除するときにはもう一度長押しします。

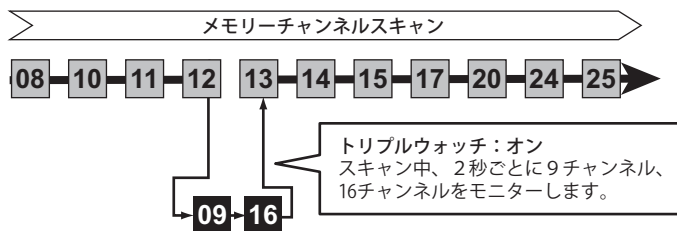
● デュアルウォッチの場合

16 チャンネルを 2 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。



● トリプルウォッチの場合

9 チャンネルおよび 16 チャンネルを 2 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。



DSC (デジタル選択呼び出し) 機能を使う

本製品は、ITU クラス D に合致する DSC 機能を搭載しています。緊急時の通信や、グループ送信、個別送信、自船の位置情報送出などの便利な各種機能がお使いいただけます。

※ 個別 MMSI 番号を登録する際 (➡ 31 ページ) 相手局の名前を登録しておくこと、本製品はディスプレイ部に MMSI 番号の代わりに名前を表示します。

ご注意!

- ・ DSC 機能を使用するには第 2 級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- ・ DSC 機能を使用するにはあらかじめ本機に自局の MMSI 番号を登録しておく必要があります。(登録のしかた➡次ページ)
- ・ 自動で位置情報を送出するには、NMEA 規格 (NMEA 0183 ver. 2.00 または 3.01) に対応した GPS レシーバーが別途必要です。

DSC 機能を使った送受信などの操作は、コールメニュー <Call Menu> で行います。

※ 自局の MMSI 番号が未登録の場合は「ENTER USER MMSI」と表示され、Call Menu は表示されません。(登録のしかた➡次ページ)

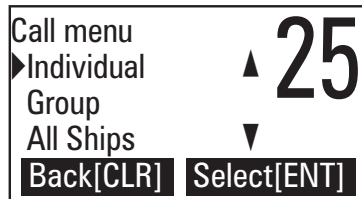
コールメニュー <Call Menu> を表示する

[CALL MENU] キーを短く押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

以下のキー操作で各項目を設定します。

動作	使用するキー
項目を選ぶ	[CH▲/▼]
選んだ項目を確定する	[ENT 1W/25W]
ひとつ前の画面に戻る	[CLR SCAN]



お知らせ

- ・ 何も操作しない状態が 30 秒間続くと、元の画面に戻ります。

メニュー名	内容	参照ページ
Individual	個別呼び出しを行います	38
Group	グループ呼び出しを行います	40
All Ships	全船呼び出しを行います	41
POS Request	位置情報要求を送信します	42
Position Send	自局の位置情報を送信します	44
Test	テスト信号を送出します	46
Directory	個別 MMSI 番号を登録します	31
Standby	スタンバイモードにします	49
Receive Log	受信履歴を表示します	45
[Exit]	コールメニューを終了します	—

DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

自局 MMSI 番号を登録する <User MMSI>

DSC 機能を使うためには、自局の MMSI 番号 (免許状に記載された9桁の自局 ID 番号) を本機に登録しておく必要があります。

ご注意!

- ・自局 MMSI 番号の登録は1回のみです。登録の際は間違えないようくれぐれもご注意ください。
変更する必要がある場合は、お客様センターにお電話いただくか、または当社ホームページよりお問い合わせください。
(☞裏表紙をご覧ください)

- 1** [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。
- 3** [CH ▲ / ▼] キーで「User MMSI」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、MMSI 番号入力画面が表示されます。
- 4** [CH ▲ / ▼] キーで数字を選ぶ
- 5** 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
カーソルが次桁に移動します。手順 **4**、**5** を繰り返して9桁の番号をすべて入力します。
※ 入力を間違えたときは、[CLR SCAN] キーを押すとカーソルがひとつ前に戻りますので、再度入力し直してください。
- 6** 9 桁目まで入力が完了すると、確認メッセージ (「Yes」または「No」) が表示されるので、「Yes」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す
最終確認メッセージ「Confirmation number This is permanent」が表示されます。
※ 修正する場合は [CLR SCAN] キーを押すと、前の画面に戻ります。
- 7** 番号を確認し、[ENT 1W/25W] キーを押す
登録が完了し、Setup メニュー画面に戻ります。

DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

グループ MMSI 番号を登録する <Group MMSI>

グループ呼び出し (➡ 40 ページ) の際に使用する、相手局のグループ MMSI 番号を登録します。

※ グループ MMSI 番号は1件のみ登録できます (何度でも変更できます)。

- 1** [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。
- 3** [CH ▲ / ▼] キーで「Group MMSI」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、MMSI 番号入力画面が表示されます。
- 4** [CH ▲ / ▼] キーで数字を選ぶ
2 桁目の番号から入力します。
※ 1 桁目の数字は「0」に固定されており、変更はできません。
※ 「00」で始まる番号は海岸局用ですのでご注意ください。
- 5** 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
カーソルが次桁に移動します。手順 **4**、**5** を繰り返して 9 桁の番号をすべて入力します。
※ 入力を間違えたときは、[CLR SCAN] を押すとカーソルがひとつ前に戻りますので、再度入力し直してください。
- 6** 9 桁目まで入力が完了すると、確認メッセージが表示されるので
番号を確認し、[ENT 1W/25W] キーを押す
入力が完了し、Setup メニュー画面に戻ります。

■ 登録済みのグループ MMSI 番号を変更するには

変更するには、上記手順で新しいグループ MMSI 番号を再登録してください。

■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

個別 MMSI 番号を登録する <Directory>

個別呼び出し (➡ 38 ページ) の際に使用する、相手局の MMSI 番号および名前を登録します。

※ 個別 MMSI 番号は 20 件まで登録できます。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

※ キーは短く押してください。長押しすると Normal Menu が表示されてしまいます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Directory」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Directory メニュー画面が表示されます。

3 [CH ▲ / ▼] キーで「New」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、MMSI 番号入力画面が表示されます。

4 相手局の MMSI 番号を入力する

[CH ▲ / ▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、番号を入力してください。9 桁目の入力確定すると、カーソルが名前入力欄に移動します。

5 相手局の名前を入力する

手順 4 と同様の方法で、相手の名前を入力します。

※ 12 文字まで入力できます。入力可能な文字および記号は以下の通りです。

【A～Z a～z / ' + - 0～9 スペース】

※ 名前が 12 文字未満の場合

空欄のまま [ENT 1W/25W] キーを押して、手順 6 の確認画面を表示させてください。

6 入力が完了すると、確認メッセージが表示されるので

番号を確認し、[ENT 1W/25W] キーを押す

入力が完了し、Directory メニュー画面に戻ります。

■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

■ 登録済みの個別 MMSI 番号を変更、または削除するには

● 変更するとき

1 前ページ手順 **3** で変更したい名前を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

2 「Edit」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

すでに登録されている内容が表示されます。登録するときと同様の方法で新しい内容を入力の上、再登録してください。

● 削除するとき

1 前ページ手順 **3** で削除したい名前を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

2 「Delete」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

確認画面が表示されます。

3 削除するには「Yes」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

データが消去され、Directory メニュー画面に戻ります。

DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

位置情報と時刻を登録する (GPS レシーバーを接続していない場合のみ)

GPS レシーバーを接続していない場合は、自船の位置情報 (緯度・経度) および時刻を以下の手順に従い手動で登録してください。

※ NMEA 規格 (NMEA 0183 ver. 2.00 または 3.01) 対応の GPS レシーバー (市販品) を本機に接続していれば、これらの情報は自動的に登録されます。GPS レシーバーについて詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご注意!

・DISTRESS コール (遭難信号) には、位置情報および時刻が自動的に含まれて送出されます。GPS レシーバーを接続していない場合は、万が一に備え、これらの情報を定期的に更新してください。(本機は手動で入力された情報を入力から 23.5 時間まで記憶しますが、入力から 4 時間経過すると、画面に入力を促すメッセージ「Input Position」を表示します。)

1 [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)

「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。

3 [CH ▲ / ▼] キーで「GPS Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、GPS Setup メニュー画面が表示されます。

4 [CH ▲ / ▼] キーで「Position Set」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

時刻・位置情報入力画面が表示されます。

5 時刻および位置情報を入力する

[CH ▲ / ▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、情報を入力してください。全ての入力が確定すると、入力が完了し、GPS Setup メニュー画面に戻ります。

ご参考

・本機に GPS レシーバーを接続しておけば、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、万が一の際、正確な情報を送信することができます。GPS レシーバーを接続していない場合は、頻繁に (最低 4 時間おき) 手動にてこれらの情報を入力しなければなりません。
安全な航行のため、本機に GPS レシーバーを接続して運用されることを強くおすすめ致します。

DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

位置情報と時刻を確認する

自動または手動で登録された位置情報および時刻を確認できます。

※ NMEA 規格 (NMEA 0183 ver. 2.00 または 3.01) 対応の GPS レシーバー (市販品) を本機に接続していれば、これらの情報は自動的に登録されます。GPS レシーバーについて詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 [ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、位置情報画面が表示されます。

● 位置情報画面のみかた

	時刻	受信中のチャンネル
日付	06/20 11:00:00	25
進路	208° 30.0 KT	
緯度	35° 40.610 N	
経度	139° 46.564 E	
ステータス	GPS Data: External	

「ステータス」欄には、状況に応じて下記のメッセージが表示されます。

表示メッセージ	内容
GPS Data External	GPS 信号受信良好
GPS Data Manually	手動入力 (33 ページ) された GPS 信号
Input Position/Time	位置情報・時刻未入力、または最後に入力されてから4時間経過後

2 終了するには [ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、元の画面に戻ります。

■ DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

時刻に関するその他設定

本機は接続された GPS レシーバーから時刻を自動で取得しますが、必要に応じて時刻を修正できます。

※ この機能は GPS レシーバーを接続している場合のみ使用できます。

■ 取得している時刻から前後 1 時間増減する <Time Adjust>

※ 時差境界線付近を航行しているときなどの調整に使います。

- 1** [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。
- 3** [CH ▲ / ▼] キーで「GPS Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、GPS Setup メニュー画面が表示されます。
- 4** [CH ▲ / ▼] キーで「Time Adjust」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
現在時刻が表示されます。
- 5** [CH ▲ / ▼] キーで時刻を調整し、[ENT 1W/25W] キーを押す
確認画面が表示されます。
- 6** 確定するには「Set」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す
時刻が登録され、GPS Setup メニュー画面に戻ります。

■ サマータイムを設定する <Daylight Save>

- 1** 上記手順 **4** で「Daylight Save」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「On」または「Off」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

DSC 機能を使う

DISTRESS コール (遭難信号) を送信する

救助が必要な非常時には、下記の手順に従って DISTRESS コール (遭難信号) を送信してください。自動的に地上局、および付近を航行中の DSC 無線機を搭載したすべての船舶に対して遭難信号を発信します。

ご注意!

- DISTRESS コール (遭難信号) は、救助が必要な非常時にのみ使用するものです。それ以外の場合には絶対に使用しないでください。
- DISTRESS コール (遭難信号) の送信には、あらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。(設定のしかた⇒29ページ)
- [DISTRESS] キーを押した際、<ENTER USER MMSI> と表示された場合は自局の MMSI 番号が設定されていません。この場合は [CLR SCAN] キーを押して送信を中止し、16 チャンネルを使用した手動送信 (⇒8ページ) を行ってください。

1 保護カバー (赤色) を上げ、[DISTRESS] キーを長く押す (約 3 秒)

他局が送信した受信確認 <Acknowledge> を受信するまで、自動的に遭難信号を 3.5 ~ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。

※ 送信される遭難信号には以下の情報が含まれます。

- 遭難の種類 <Undesignated distress> (その他の遭難)
- 位置情報

※ 送信を開始するとピープ音「ピポッ、ピポッ」が鳴り続けます。

(ピープ音はいずれかのキーを押すと止まります。)

※ 送信開始時は 70 チャンネル、その後 16 チャンネルに移行します。

※ 送信を中止するときは [ENT 1W/25W] キーを押します (ピープ音の鳴動中は 2 回押す)。

2 他局が送信した受信確認を受信するとピープ音が止まるので、PTT (送信) スイッチを押して以下の情報を伝える

- ① 「MAYDAY (メーデー)、MAYDAY、MAYDAY」
- ② 「THIS IS (こちらは)」
- ③ 「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」 (3 回繰り返す)
- ④ 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類
- ⑤ その他救助に際して有効と思われる情報

ご参考

- DISTRESS コール (遭難信号) には、自船の位置情報および時刻が自動的に含まれて送出されます。本機に GPS レシーバーを接続しておけば、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、正確な情報を送信することができます。GPS レシーバーを接続していない場合は、頻繁に (最低 4 時間おき) 手動にてこれらの情報を入力しなければなりません。安全な航行のため、本機に GPS レシーバーを接続して運用されることを強くおすすめ致します。

DSC 機能を使う (つづき)

■ 遭難の種類を指定して送信する

遭難の種類（下表参照）を指定して遭難信号を発信するには、以下の手順で行います。

表示	内容
Undesignated	その他の遭難
Fire	火災
Flooding	浸水
Collision	衝突
Grounding	座礁
Capsizing	転覆

表示	内容
Sinking	沈没
Adrift	漂流 / 操舵不能
Abandoning	船体放棄
Piracy/Armed	海賊による攻撃
Overboard	落水

1 保護カバー（赤色）を上げ、[DISTRESS] キーを押す

遭難の種類がリスト表示されます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで遭難の種類を選ぶ

（遭難の種類については上表参照）

3 送信するには [DISTRESS] キーを長く押す（約 3 秒）

ビーブ音と共にカウントダウンが開始されます。

送信を開始するとビーブ音「ピポッ、ピポッ」が鳴り続けます。

※ ビーブ音はいずれかのキーを押すと止まります。

● 送信を中止するとき

[ENT 1W/25W] キーを押す（ビーブ音の鳴動中は2回押す）

DISTRESS コール（遭難信号）を受信したら…

1 呼び出し音と共に画面に相手の情報（MMSI 番号、位置情報等）が表示され、16 チャンネルに自動的に切り換わる

2 呼び出し音を止めるには [CLR SCAN] キーを押す

3 必要に応じ、相手と交信する

DSC 機能を使う (つづき)

個別呼び出しをする <Individual Call>

特定の相手局を個別に呼び出すことができます。

既に登録されている相手局の名前から探すか、または相手の MMSI 番号を入力して呼び出すことができます。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

※ キーは短く押してください。長押しすると Normal Menu が表示されてしまいます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Individual」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Individual メニュー画面が表示されます。

3 ◎ 既に登録されている名前から選ぶとき

[CH ▲ / ▼] キーで呼び出す相手を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
通話チャンネル選択画面が表示されます。

◎ 未登録の相手呼び出すとき

「Manual」を選び、相手局の MMSI 番号を入力する

[CH ▲ / ▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、番号を入力してください。9 桁目の入力確定すると、通話チャンネル選択画面が表示されます。

4 [CH ▲ / ▼] キーで通話チャンネルを選び*、[ENT 1W/25W] キーを押す

* 現在選択されているチャンネルは <Current> と表示されます。

確認画面が表示されます。

5 呼び出しを行うには「Send」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

呼び出しを開始し、相手局の応答を待ちます。

相手局が応答すると呼び出し音が鳴りますので、PTT(送信) スイッチを押して交信してください。

DSC 機能を使う (つづき)

個別呼び出しを受ける

他局から個別呼び出しを受けると、本機は自動でそのチャンネルに切り換えます。

※ 自動チャンネル切換をしないようにするには「個別呼び出し時の自動チャンネル切換を設定・解除する」(➡ 48 ページ)

1 呼び出し音と共に画面に相手局の MMSI 番号が表示され、
相手が指定したチャンネルに自動的に切り換わる

2 [CLR SCAN] キーを押して呼び出し音を止める

3 ◎ 呼び出しに応じる場合

[CH ▲ / ▼] キーで送信する受信確認の種類(下表参照)を選び、
[ENT 1W/25W] キーを押す

Send: Able-Comply	応答可能なとき
Send: Unble-Comply	応答不可のとき

◎ 呼び出しに応答しない(受信確認 <Acknowledge> を送信しない) 場合
[CLR SCAN] キーを押す

4 (「Able-Comply」を送信した場合のみ)
PTT(送信) スイッチを押して交信する

● 自動チャンネル切換 <Auto CH SW> が「Off」に設定されているとき

他局からの個別呼び出しを受けた際、自動的に Unable-Comply(応答不可)を送信します。

1 呼び出し音と共に、画面に相手局の MMSI 番号・相手が指定した
通話チャンネル番号が表示される

2 [CLR SCAN] キーを押して呼び出し音を止める

DSC 機能を使う (つづき)

グループ呼び出しをする <Group Call>

登録されているグループ MMSI 番号を簡単に呼び出すことができます。

※ あらかじめグループ MMSI 番号を登録しておく必要があります (⇒ 30 ページ)。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

※ キーは短く押してください。長押しすると Normal Menu が表示されてしまいます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Group」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、チャンネル番号選択画面が表示されます。

3 [CH ▲ / ▼] キーで使用するチャンネルを選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

※ 必ず「Inter-Ship」(船舶間通信用) チャンネルを選んでください。

なお「Current」は現在選択しているチャンネルを表します。

4 呼び出しを行うには「Send」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

必要に応じ、PTT (送信) スイッチを押して交信してください。

グループ呼び出しを受ける

■ 他局からグループ呼び出しを受けると…

1 呼び出し音と共に画面に相手局のグループ MMSI 番号が表示され、相手が指定したチャンネルに自動的に切り換わる

2 呼び出し音を止めるには [CLR SCAN] キーを押す

DSC 機能を使う (つづき)

全船呼び出しをする <All Ships Call>

航行に注意を要す状況（漂流物など）を知らせたり、トラブルなどで最寄の相手に救援を要請したいときなどに、信号の届く範囲を航行している船舶全てを呼び出すことができます。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

※ キーは短く押してください。長押しすると Normal Menu が表示されてしまいます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「All Ships」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、チャンネル番号選択画面が表示されます。

3 [CH ▲ / ▼] キーでカテゴリ（「Urgency」または「Safety」）を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

Urgency (緊急)	トラブルなどで救援を必要とする場合
Safety (安全)	他船に注意を促す場合

4 呼び出しを行うには「Send」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

必要に応じ、PTT (送信) スイッチを押して交信してください。

全船呼び出しを受ける

■ 他局から全船呼び出しを受けると…

1 呼び出し音と共に画面に相手局の MMSI 番号が表示され、16 チャンネルに自動的に切り換わる

2 呼び出し音を止めるには [CLR SCAN] キーを押す

DSC 機能を使う (つづき)

位置情報要求を送信する <POS Request>

特定の相手局の位置情報を知りたいとき、相手局に「位置情報要求」を送信することができます。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「POS Request」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、POS Request メニュー画面が表示されます。

3 ◎ 既に登録されている名前から選ぶとき

[CH ▲ / ▼] キーで送信相手を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
確認画面が表示されます。

◎ 未登録の相手呼び出すとき

「Manual」を選び、相手局の MMSI 番号を入力する

[CH ▲ / ▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、番号を入力してください。9 桁目の入力確定すると、確認画面が表示されます。

4 呼び出しを行うには「Send」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

呼び出しを開始し、相手局の応答を待ちます。

相手局が応答すると呼び出し音が鳴り、画面に相手局の位置情報が表示されます。

DSC 機能を使う (つづき)

他局からの位置情報要求に応答する

他局からの位置情報要求を受けると、本機は自動で応答し、位置情報を送出します。

位置情報要求を受信すると…

画面に相手局の MMSI 番号が表示され、位置情報が自動で送出される

※ 位置情報を自動送出しないようにするには「位置情報自動送出を設定・解除する」(➡ 48 ページ)

● 位置情報自動送出 <POS Reply> が「Manual」に設定されているとき

他局からの位置情報要求を受けた際、下記手順に従って手動で操作を行う必要があります。

1 位置情報要求を受信すると…

呼び出し音と共に画面に相手局の MMSI 番号が表示される

2 呼び出し音を止めるには [CLR SCAN] キーを押す

3 [CH ▲ / ▼] キーで「Reply」または「Cancel」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

Reply	位置情報を送出する
Cancel	位置情報を送出しない

DSC 機能を使う (つづき)

自局の位置情報を送信する <Position Send>

特定の相手局に自局の位置情報を送信することができます。

- 1** [CALL MENU] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「Position Send」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、POS Request メニュー画面が表示されます。
- 3** ◎ 既に登録されている名前から選ぶとき
[CH ▲ / ▼] キーで送信相手を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
確認画面が表示されます。

◎ 未登録の相手呼び出すとき
「Manual」を選び、相手局の MMSI 番号を入力する
[CH ▲ / ▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、番号を入力してください。9 桁目の入力確定すると、確認画面が表示されます。
- 4** 送信するには「Send」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す
相手局に位置情報が送出されます。

他局からの位置情報を受ける

■ 他局からの位置情報を受けると…

- 1** ビープ音と共に画面に相手局の MMSI 番号および位置情報が表示される
- 2** ビープ音を止めるには [CLR SCAN] キーを押す

DSC 機能を使う (つづき)

受信履歴を見る <Receive Log>

本機は受信した最新の各種呼び出し*を最大 20 件、DISTRESS コール (遭難信号) を最大 10 件まで保存します。

* 個別・グループ・全船呼び出し、位置情報要求・送信、テストコール、およびこれらの各種応答 < Acknowledge > を指します。

※ 上記の各最大保存件数を超えると、古い履歴から消去されます。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Receive Log」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Received Log メニュー画面が表示されます。

3 [CH ▲ / ▼] キーでカテゴリ (「Distress」または「Other」) を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

Distress	DISTRESS コール (遭難信号)
Other	各種呼び出し

4 呼び出しの種類が表示されますので、さらに [CH ▲ / ▼] キーで選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

履歴がない場合は表示されません。

5 [CH ▲ / ▼] キーで見たい履歴を表示する

6 終了するには [CLR SCAN] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、元の画面に戻ります。

DSC 機能を使う (つづき)

テストコールを行う <Test>

点検の際など、本機が正しく動作していることを確認するため、特定の相手局にテスト信号を送出することができます。

1 [CALL MENU] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。

2 [CH▲/▼] キーで「Test」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、POS Request メニュー画面が表示されます。

3 ◎ 既に登録されている名前から選ぶとき

[CH▲/▼] キーで送信相手を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
確認画面が表示されます。

◎ 未登録の相手呼び出すとき

「Manual」を選び、相手局の MMSI 番号を入力する

[CH▲/▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、番号を入力してください。9桁目の入力確定すると、確認画面が表示されます。

4 送信するには「Send」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

相手局にテスト信号が送出されますので、相手局の応答を待ちます。

5 相手局が応答し、ビーブ音が鳴る

ビーブ音を止めるには [CLR SCAN] キーを押してください。

DSC 機能を使う (つづき)

テストコールを受ける

他局からのテストコールを受信すると…

画面には「Test」の表示と共に相手局の MMSI 番号が表示される

※ 受信した際、ビープ音は鳴りません。

※ 画面表示を消すには [CLR SCAN] キーを押します。

※ 自動応答をしないようにするには「テストコールの自動応答を設定・解除する」(⇒ 49 ページ)

● テストコール自動応答 <Test Reply> が「Manual」に設定されているとき

他局からのテストコールを受信した際、下記手順に従って手動で操作を行う必要があります。

1 テストコールを受信すると…

呼び出し音と共に画面に相手局の MMSI 番号が表示される

2 呼び出し音を止めるには [CLR SCAN] キーを押す

3 [CH ▲ / ▼] キーで「Reply」または「Cancel」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

Reply	テストコールに回答する
Cancel	テストコールに回答しない

DSC 機能に関する各種設定

個別呼び出し時の自動チャンネル切換を設定・解除する <Auto CH SW>

他局からの個別呼び出し時に、自動でチャンネルを切り換える・切り換えないを設定します。

- 1 **[CALL MENU]** キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。
- 2 **[CH ▲ / ▼]** キーで「Setup」を選び、**[ENT 1W/25W]** キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。
- 3 **[CH ▲ / ▼]** キーで「Auto CH SW」を選び、**[ENT 1W/25W]** キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Auto CH SW メニュー画面が表示されます。
- 4 **[CH ▲ / ▼]** キーで「On」または「Off」を選び、**[ENT 1W/25W]** キーを押す

On	自動でチャンネルを切り換える
Off	自動でチャンネルを切り換えない

- 5 終了するには **[CLR SCAN]** キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、元の画面に戻ります。

位置情報自動送出を設定・解除する <POS Reply>

他局からの位置情報要求に対し、自局の位置情報を自動で送出する・しないを設定します。

- 1 **[CALL MENU]** キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。
- 2 **[CH ▲ / ▼]** キーで「Setup」を選び、**[ENT 1W/25W]** キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。
- 3 **[CH ▲ / ▼]** キーで「POS Reply」を選び、**[ENT 1W/25W]** キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、POS Reply メニュー画面が表示されます。
- 4 **[CH ▲ / ▼]** キーで「Auto」または「Manual」を選び、**[ENT 1W/25W]** キーを押す

Auto	自動送出する
Manual	自動送出しない

- 5 終了するには **[CLR SCAN]** キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、元の画面に戻ります。

DSC 機能に関する各種設定 (つづき)

テストコールの自動応答を設定・解除する <Test Reply>

他局からの個別呼び出しに自動で応答する・しないを設定します。

- 1** [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。
- 3** [CH ▲ / ▼] キーで「Test Reply」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Test Reply メニュー画面が表示されます。
- 4** [CH ▲ / ▼] キーで「Auto」または「Manual」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

Auto	自動応答する
Manual	自動応答しない
- 5** 終了するには [CLR SCAN] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、元の画面に戻ります。

スタンバイ状態にする <Standby>

スタンバイ状態にしておくと、不在時などで応答ができないときに受信した個別呼び出しに対し、応答不可であることを自動的に伝えます。

※ スタンバイ時は個別呼び出しにのみ応答します。それ以外の呼び出しには応答しません。

- 1** [CALL MENU] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Call Menu 画面が表示されます。
- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「Standby」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、スタンバイ状態になります。画面にはスタンバイ状態であることを表すメッセージ「DSC Standby Unattended」が表示されます。
- 3** スタンバイを解除するにはいずれかのキーを押す
元の画面に戻ります。

メニューについて

本機にはノーマルメニューとコールメニューがあります。

ノーマルメニューにはさらに、セットアップ<Setup>、システム<System>の2つのメニューがあります。

※ 各項目の詳しい設定内容・操作手順等については下表の各参照ページ先をご覧ください。

※ コールメニューについての詳細は「コールメニュー <Call Menu> を表示する」(➡28 ページ)をご覧ください。

セットアップメニュー・システムメニューを表示する

1 [CALL MENU] キーを長く押す(約2秒)

「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」または「System」を選ぶ

メニュー名	サブメニュー名	内容	参照ページ
Setup (セットアップ) メニュー	USA/CAN/INT	チャンネルグループを切り換えます	52
	Dual/TriWatch	ウォッチモードを切り換えます	52
	GPS Setup	位置情報・時刻を手動設定します	33
	FIPS Codes	使用しません	—
	Auto CH SW	個別呼び出しへの自動応答をオン・オフします	48
	POS Reply	位置情報個自動送出手をオン・オフします	48
	Test Reply	テストコールへの自動応答をオン・オフします	49
	Channel Name	チャンネル名を変更します	53
	Group MMSI	グループ MMSI 番号を登録します	30
	User MMSI	自局 MMSI 番号を登録します	29
	WX Alert Mode	使用しません	—
[Exit]	Setup メニューを終了します	—	
System (システム) メニュー	Contrast	画面コントラストを調整します	55
	Lamp Adjust	キー照明の明るさを調整します	55
	Key Beep	キータッチ音をオン・オフします	55
	[Exit]	System メニューを終了します	—
[Exit]	ノーマルメニューを終了します	—	

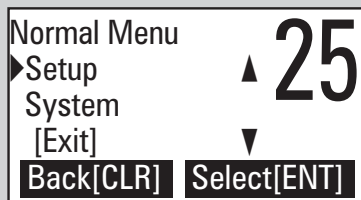
■ セットアップメニュー

セットアップ (Setup) メニューでは、チャンネルやモードの設定変更や、DSC 機能に関する各種設定を行えます。

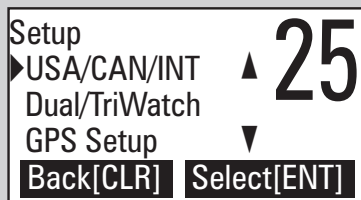
※ DSC 機能に関する各種設定のしかたは、前章の「DSC 機能に関する各種設定」で説明していますので、そちらをご覧ください。

■ セットアップ (Setup) メニューを表示するには

- 1** [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal メニュー画面が表示されます。



- 2** [CH▲/▼] キーで「Setup」を選び、
[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。



以下のキー操作で各項目を設定します。

動作	使用するキー
項目を選ぶ	[CH▲/▼]
選んだ項目を確認する	[ENT 1W/25W]
ひとつ前の画面に戻る	[CLR SCAN]

お知らせ

- ・何も操作しない状態が 30 秒間続くと、元の画面に戻ります。

■ セットアップメニュー (つづき)

チャンネルグループを切り換える <USA/CAN/INT>

使用するチャンネルグループを切り換える際に設定します。【お買上げ時設定：INT】

ご注意！

・日本の国内、海域および近海では、必ず国際チャンネル「INT」を使用してください。

- 3 [CH▲/▼] キーで「USA/CAN/INT」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、現在の設定値が表示されます。
- 4 [CH▲/▼] キーで「USA Mode」、「Canada Mode」または「Intl Mode」を選ぶ
- 5 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
設定が保存され、前の画面に戻ります。

ウォッチモードを切り換える <Dual/TriWatch>

使用するウォッチモードを切り換える際に設定します。【お買上げ時設定：Triple Watch】

- 3 [CH▲/▼] キーで「Dual/TriWatch」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、現在の設定値が表示されます。
- 4 [CH▲/▼] キーで「Dual Watch」または「Triple Watch」を選ぶ
- 5 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
設定が保存され、前の画面に戻ります。

■ セットアップメニュー (つづき)

チャンネル名を変更する <Channel Name>

すべてのチャンネルにはあらかじめチャンネル名が登録されていますが、用途に合わせて任意のチャンネル名に変更することができます。

1 [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)

「ピピッ」と音が鳴り、Normal Menu 画面が表示されます。

2 [CH ▲ / ▼] キーで「Setup」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、Setup メニュー画面が表示されます。

3 [CH ▲ / ▼] キーで「Channel Name」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

「ピッ」と音が鳴り、チャンネルがリスト表示されます。

4 [CH ▲ / ▼] キーで名前を変更したいチャンネルを選び、[ENT 1W/25W] キーを押す

サブメニューが表示されますのでいずれかを選んで [ENT 1W/25W] キーを押します。

Rename	名前を変更する
Default	名前を初期設定に戻す

5 ◎ 名前を変更するとき

[CH ▲ / ▼] キーで数字を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定する手順で、名前を入力してください。入力が確定すると、手順 6 の確認画面が表示されます。

※ 12 文字まで入力できます。入力可能な文字および記号は以下の通りです。

【A～Z a～z / ' + - 0～9 スペース】

※ 名前が 12 文字未満の場合

空欄のまま [ENT 1W/25W] キーを押して、手順 6 の確認画面を表示させてください。

◎ 初期設定に戻すとき

[CH ▲ / ▼] キーで「Default」を選び、[ENT 1W/25W] キーで確定してください。

6 入力が完了すると、確認メッセージが表示されるので、確定するには「Yes」を選んで [ENT 1W/25W] キーを押す

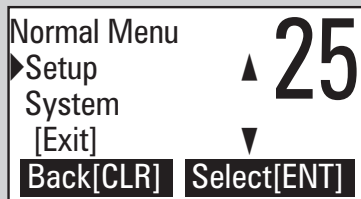
入力が完了し、チャンネルリスト表示に戻ります。

システムメニュー

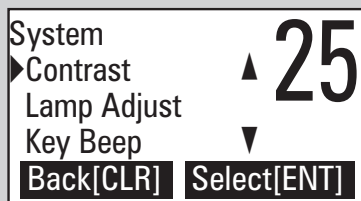
システム (System) メニューでは、本体に関する各種設定を行えます。

■ システム (System) メニューを表示するには

- 1** [CALL MENU] キーを長く押す (約 2 秒)
「ピピッ」と音が鳴り、Normal メニュー画面が表示されます。



- 2** [CH ▲ / ▼] キーで「System」を選び、
[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、System メニュー画面が表示されます。



以下のキー操作で各項目を設定します。

動作	使用するキー
項目を選ぶ	[CH▲/▼]
選んだ項目を確定する	[ENT 1W/25W]
ひとつ前の画面に戻る	[CLR SCAN]

お知らせ

- ・何も操作しない状態が 30 秒間続くと、元の画面に戻ります。

システムメニュー (つづき)

画面コントラストを調整する <Contrast>

ディスプレイ部のコントラストを 10 段階で調節できます。【お買上げ時設定：5】

- 3 [CH ▲ / ▼] キーで「Contrast」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、現在の設定値が表示されます。
- 4 [CH ▲ / ▼] キーでコントラストを調整する
押すたびに画面のコントラストが変わりますので見やすい値に調節してください。
- 5 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
設定が保存され、前の画面に戻ります。

キー照明の明るさを調整する <Lamp Adjust>

キー照明の明るさを 10 段階で調節できます。【お買上げ時設定：9】

※「0」にすると、キー照明がオフとなります。

- 3 [CH ▲ / ▼] キーで「Lamp Adjust」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、現在の設定値が表示されます。
- 4 [CH ▲ / ▼] キーで明るさを調整する
押すたびにキーの明るさが変わりますので見やすい値に調節してください。
- 5 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
設定が保存され、前の画面に戻ります。

キータッチ音 <Key Beep>

キーを押したときの操作音を鳴る・または鳴らないように設定できます。【お買上げ時設定：On】

- 3 [CH ▲ / ▼] キーで「Key Beep」を選び、[ENT 1W/25W] キーを押す
「ピッ」と音が鳴り、現在の設定値が表示されます。
- 4 [CH ▲ / ▼] キーで「On」または「Off」を選ぶ
- 5 確定するには [ENT 1W/25W] キーを押す
設定が保存され、前の画面に戻ります。

■故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。(☎裏表紙をご覧ください。)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
電源が入らない	電源ケーブルは接続されていますか？	接続を確認してください。	18
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズ切れの原因を特定し、対処したのちヒューズを新しいものに交換する。	18
スピーカーから音が出ない	スケルチレベルが高すぎませんか？	スケルチレベルを雑音聞こえだす直前のレベルに設定してください。	20
	音量レベルが小さすぎませんか？	音量を適切なレベルに設定してください。	20
スピーカーから常に雑音がる	スケルチレベルが低すぎませんか？	スケルチレベルを雑音聞こえだす直前のレベルに設定してください。	20
送信が停止する	一度に5分以上連続して送信していませんか？	一旦送信を終了し、再度送信してください。	21
他の送信出力を選択できない	1W 出力専用のチャンネルを選択していませんか？	チャンネルを変更してください。	21, 58
送信はできるが応答がない	国際チャンネル以外のチャンネルに設定されていませんか？	Setupメニューで国際チャンネルを選択してください。 ・国際チャンネルを選択すると、ディスプレイ部に「INT」と表示されます。	19, 52
DISTRESS コール(遭難信号)の送信ができない	自局のMMSI番号は本機に設定してありますか？	あらかじめ自局のMMSI番号を本機に設定しておく必要があります。	29
スキャンがスタートしない	メモリー(スキャン対象)チャンネルが2つ以上、設定されていますか？	メモリー(スキャン対象)チャンネルにチャンネルを2つ以上設定してください。	25

■故障かなと思ったら (つづき)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
キーを押しても音が鳴らない	キータッチ音機能の設定がオフになっていませんか？	キータッチ音機能の設定をオンにしてください。	55
キーの照明が消えている	キー照明の明るさ設定が「0」になっていませんか？	キー照明の設定を「0」以外にしてください。	55
チャンネル番号が点滅する	スキャンモード、ウォッチモードに設定していませんか？	スキャンモード、ウォッチモード中はチャンネル表示部にスキャン中のチャンネル番号が交互に表示されるため、異常ではありません。	24, 26, 27

■チャンネルリスト

CH	周波数 (MHz)	
	送信	受信
01	156.050	160.650
02	156.100	160.700
03	156.150	160.750
04	156.200	160.800
05	156.250	160.850
06	156.300	156.300
07	156.350	160.950
08	156.400	156.400
09	156.450	156.450
10	156.500	156.500
11	156.550	156.550
12	156.600	156.600
13	156.650	156.650
14	156.700	156.700
15*	156.750	156.750
16	156.800	156.800
17*	156.850	156.850
18	156.900	161.500
19	156.950	161.550
20	157.000	161.600
21	157.050	161.650
22	157.100	161.700
23	157.150	161.750
24	157.200	161.800
25	157.250	161.850
26	157.300	161.900
27	157.350	161.950
28	157.400	162.000
60	156.025	160.625
61	156.075	160.675
62	156.125	160.725
63	156.175	160.775
64	156.225	160.825
65	156.275	160.875
66	156.325	160.925
67	156.375	156.375
68	156.425	156.425
69	156.475	156.475
70**	156.525	156.525

CH	周波数 (MHz)	
	送信	受信
71	156.575	156.575
72	156.625	156.625
73	156.675	156.675
74	156.725	156.725
75*	156.775	156.775
76*	156.825	156.825
77	156.875	156.875
78	156.925	161.525
79	156.975	161.575
80	157.025	161.625
81	157.075	161.675
82	157.125	161.725
83	157.175	161.775
84	157.225	161.825
85	157.275	161.875
86	157.325	161.925
87	157.375	157.375
88	157.425	157.425

* 1W 出力専用のチャンネルです。

** DSC 送受信専用のチャンネルです。
(選択できません)

おもな仕様

一般仕様	
国際チャンネル (INT)	送信周波数範囲 : 156.025 ~ 157.425MHz
	受信周波数範囲 : 156.300 ~ 162.000MHz
ウェザーチャンネル (WX)	受信周波数範囲 : 161.650 ~ 163.275MHz
※ ウェザーチャンネルは米国、およびカナダで放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。	
チャンネル数	57ch (国際チャンネル)
	10ch (ウェザーチャンネル)
電波型式	F3E, F2B
使用温度範囲	- 20°C ~ + 60°C
電源電圧	13.8V DC \pm 15% (マイナス接地)
消費電流 (13.8V 時)	約 4.5A (送信時 : 25W)
	約 0.8A (送信時 : 1W)
	約 340mA (待ち受け時)
	約 840mA (受信最大出力時)
アンテナインピーダンス	50 Ω (不平衡)
外形寸法 (突起部を除く)	168 (W) \times 77 (H) \times 129 (D) mm
重量	約 1.0kg

送信部	
送信出力	25W/1W
変調方式	リアクタンス変調
最大周波数偏移	\pm 5.0kHz
スプリアス発射強度	3.125 μ W 以下

受信部	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	0.27 μ V (Typ.) 12dB SINAD 時
スケルチ感度	0.20 μ V (Typ.)
相互変調特性	77dB (Typ.)
スプリアス妨害比	77dB (Typ.)
隣接チャンネル選択度	78dB (Typ.)
オーディオ出力	約 2.5W (8 Ω , 10% 歪時)

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 識別表示は本体底面に記載してあります。

最新の商品情報やサポート情報は、
ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.uniden.jp/>

当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

<ユニデンダイレクト>お客様センター

- 商品のご注文 **0120-012-123**
- サポートダイヤル **0120-20-20-70**